



防げる事故から 子どもを守るう！

“昨日できなかったことが今日できるようになる”
のが子ども。

成長を感じてとても嬉しい反面、大人には不慮の事故から子どもを守るための配慮が必要になります。



よくある事故の原因とその対策

●窒息

危険なもの・・・豆類、アメ、プチトマト、氷、りんご、ちくわ、スーパーボールなど

<原因>

こんにゃくゼリーなどの危険性はよく知られていますが、ごく普通の食品も原因になります。特に乳幼児の場合、気管に物を詰まらせやすいので、小さい物でも十分注意が必要です。

<対策>

- ・食べやすい大きさにして与える
- ・食事の時は子どもから目を離さない
- ・よく噛むこと、急いで飲み込まないことを教える
- ・物を口にいったまま喋ったり歩き回ったりしない

●誤飲

危険なもの・・・タバコ、ボタン電池、蚊取り線香、小さいおもちゃ、観葉植物、医薬品、化粧品、洗剤、ホウ酸団子など

<原因>

何でも口に入れようとするのが子どもです。また、昨日までできなかったことが突然できてしまうのも子どもです。

<対策>

- ・子どもの口に入る大きさの物をテーブルの上に置いたままにしない
- ・危険性のあるものは子どもが開けられない箱や引き出しにしまう
- ・まだ立てないから、まだ歩けないからと油断しない
- ・児童には、医薬品やアルコールの誤飲の危険について、よく言い知らせる



●溺水

危険なもの・・・浴槽、洗濯機、バケツ、プール、川、海など

<原因>

乳幼児は頭が重く、バランスを崩すと自力で体勢を直すのが困難です。

大人と一緒に入浴中でも、ちょっとしたすきに溺れてしまうことがあります。

<対策>

- ・浴槽に湯を残さない
- ・*3歳未満の乳幼児の溺水の8割は浴槽で起きています
- ・入浴時は、子どもより先に入り、子どもを出してから出る



身の回りを子ども目線で点検しよう！

ベランダ

- ・勝手に出られないようロックしておく
- ・いす、花台、古新聞等、踏み台になりそうな物を撤去する

トイレ

- ・内鍵を勝手にかけないように注意
- ・のぞき込んで便器に落ちないように注意
- ・芳香剤などは手の届かない場所に置く

浴室・洗面所

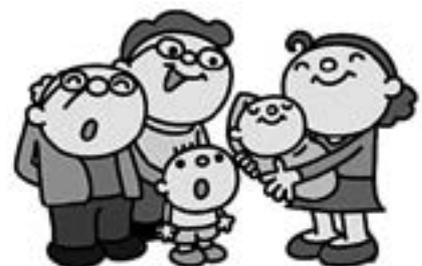
- ・浴槽、洗濯機に水をためておかない
- ・浴室に鍵をかけるなど勝手に入れないように工夫する
- ・洗剤やカミソリなどは幼児の手の届かない場所に置く
- ・踏み台になるものを置かない

リビング

- ・使い終わったらすぐにしまう、テーブルの上には物を置いておかないなど、こまめに整理整頓する
- ・口や鼻に入ってしまうような小さいおもちゃは与えない

キッチン

- ・テーブルクロスは使用しない
- ・ポットなどは手の届かない所に置く



お問い合わせ/健康推進課(☎63・3801)